

建築見学研修会報告

令和7年9月4日、兵庫県建築士会淡路支部では大阪・関西万博の見学研修会を実施した。今回は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる万博会場を見学し、最新の建築技術や環境デザインの動向を体感することを目的とした。当日はあいにくの雨天となったが、参加者19名が予定通り集合し、夢洲会場の西ゲートへ向かった。

今回の研修は、16時から22時までの夜の部を中心に実施した。会場到着後は入場手続きを済ませ、各自自由行動とし、興味あるパビリオンや施設を見学した。夕刻から夜にかけては、各建築物の照明演出や水辺の光のデザインが際立ち、昼間とは異なる幻想的な空間体験が得られた。雨に濡れた外装材や舗装面が光を反射し、計算された夜景演出を一層引き立てていたのが印象的であった。

特に、一周2Kmのリングでは伝統構法を現代技術で再構築した木質架構の美しさが目を引き、環境配慮型建築の一つの方向性を示していた。また、各国パビリオンでは地域特性に基づく構造形式や素材表現が多様に展開され、国際的な建築文化の交流を感じ取ることができた。

今回の見学を通じ、環境共生・技術革新・文化継承という三要素が、未来社会における建築の重要な指針であることを改めて確認した。短時間ながら多くの刺激を受けた研修であり、今後の設計・地域活動に活かしていきたい。

最後に雨の為楽しみにしていたドローンショーが中止になったのが残念であった。



